



取扱説明書

ご使用前に
よくお読みください。

That's

助手席リフトアップシート車

このたびはHonda車をお買い上げいただき、
ありがとうございます。
この取扱説明書は、That's 助手席リフトアップシート車に
装備された機構の取り扱いについてのみ説明してあります。
その他の内容については That's 取扱説明書をご覧ください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。



アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています)



知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

もくじ

各部の名称	3
-------	---

安全ドライブのための必読ポイント	4
------------------	---

装備の使いかた

フロントシート	6
リヤシート	7
回転昇降シート	8
フットプレート	13
胸部固定ベルト	13
車いすの収納のしかた	14
車いす収納装置のたたみかた	20

点検整備について

点検整備方式	24
日常点検	25
車いす収納装置の手入れ	25

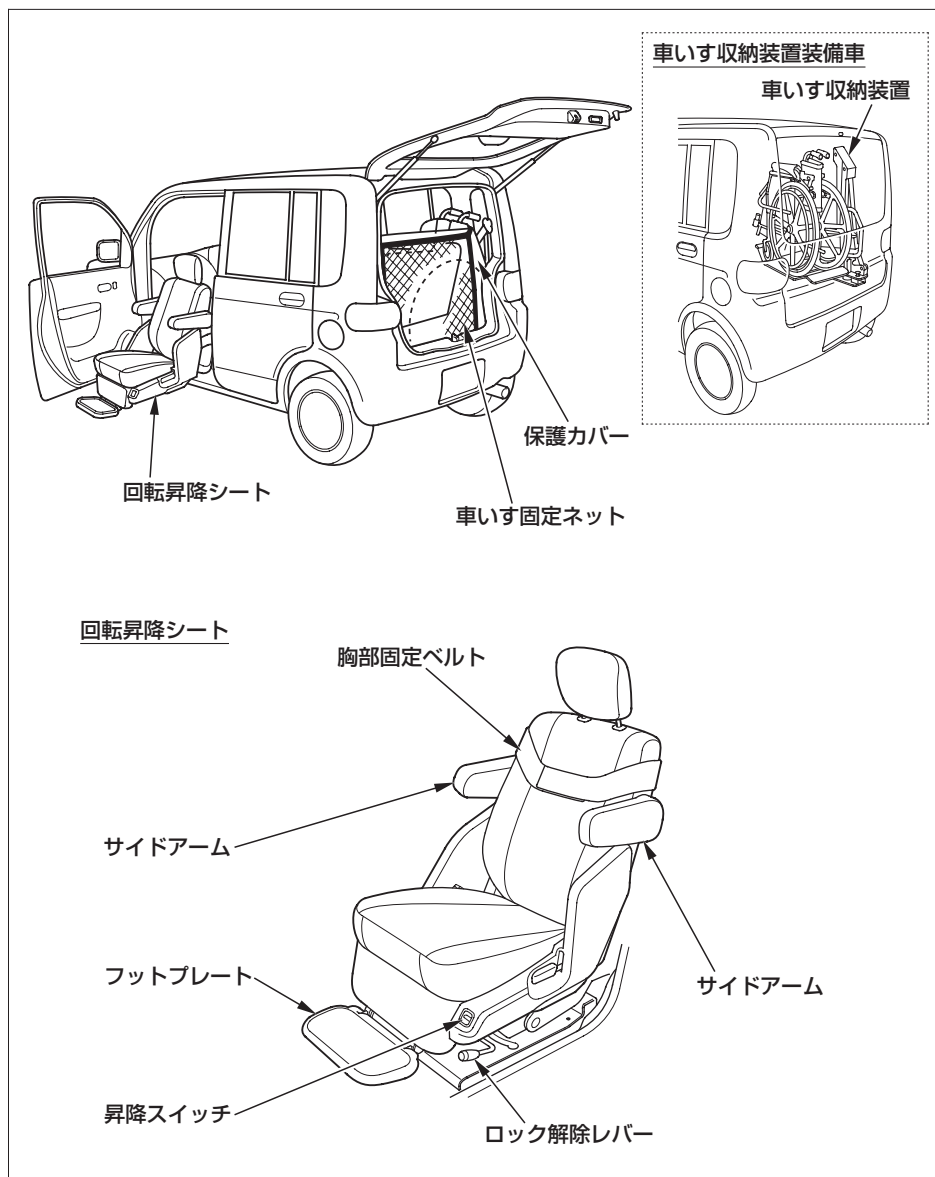
万一のとき

工具	26
ジャッキの取り扱い	28
応急用スペアタイヤ	29
シートが昇降できないとき	30

サービスデータ

サービスデータ	34
収納可能な車いすのサイズ	35

各部の名称

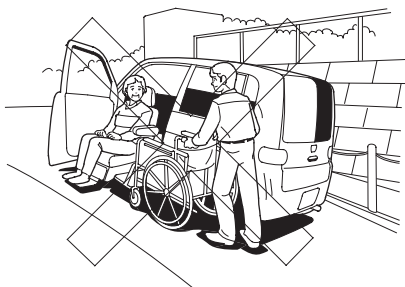


安全ドライブのための必読ポイント

坂道での回転、昇降操作はしない。

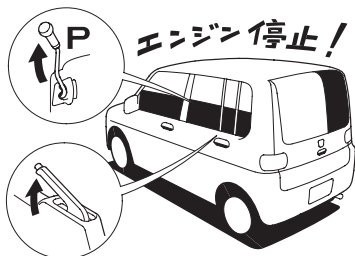
- 回転昇降シートおよび車いす収納装置の操作は必ず平坦な場所で行ってください。

坂道では、車や車いすが不安定になり、転倒や落下など思わぬけがをすることがあります。



昇降操作するときは、エンジンを止めて。

- 回転昇降シートおよび車いす収納装置の操作をするときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、必ずエンジンを止めましょう。不意に車が動き出したりして、思わぬけがをすることがあります。
- 回転昇降シートはセレクトレバーがPに入っていないと昇降操作ができません。



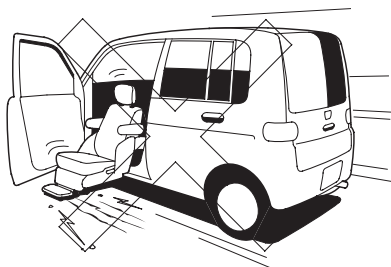
回転、昇降操作は介護者が行う。

- 回転、昇降操作は、道路状況や回転昇降シートの周辺にも注意し、介護する人が行ってください。回転、昇降操作を誤ると思わぬけがをすることがあります。



回転昇降シートや車いす収納装置を降ろしたままでの車の移動はしない。

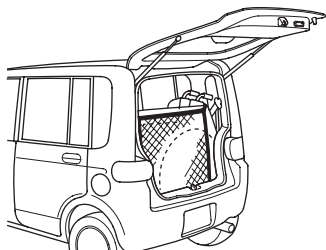
- シートや車両が破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



車いすは確実に固定。

- 車いす固定ネット装備車は、必ず車いすのブレーキをかけてから、固定ネットで固定してください。

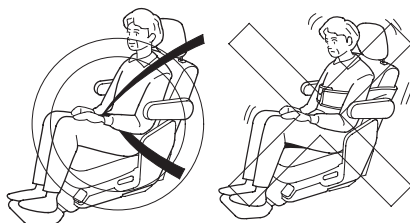
走行中車いすが不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



走行するときはシートベルトを必ず着用。

- 胸部固定ベルトは、シートベルトに代わるものではありません。

走行前に必ず、シートベルトを正しく着用してください。



装備の使いかた

フロントシート

●前後位置の調節(運転席)



●背もたれの調節



●ヘッドレストの調節

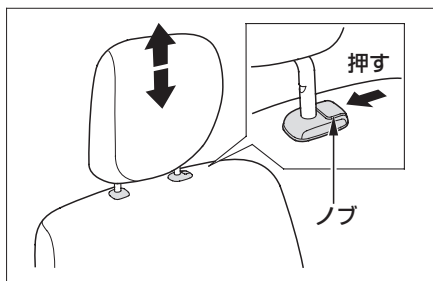
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定出来る範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときには、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときにはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



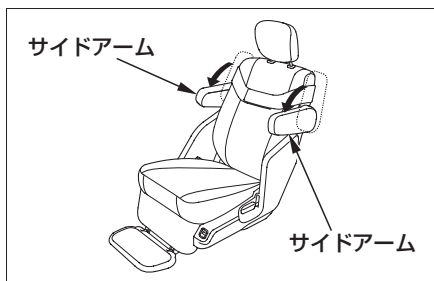
⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●サイドアーム(回転昇降シート)

前に倒して使用します。

昇降操作中は、前に倒しておいてください。



⚠ 注意

- シートベルト着用時にサイドアームに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。
シートベルトは正しく着用してください。
- サイドアームを倒した状態で、ドアを閉める場合は、サイドアームとドアの間に腕などを挟まないように十分注意してください。

🚗 アドバイス

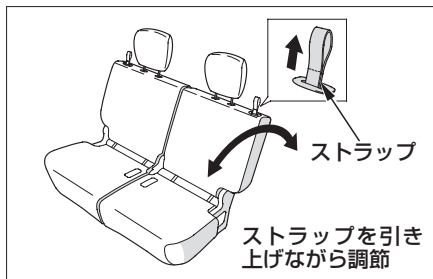
- サイドアームに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。サイドアームが破損するおそれがあります。

リヤシート

●背もたれの調節

ストラップを引き上げながら、背もたれの角度を調節します。

片側ずつ独立して行えます。



🎓 知識

●車いす収納装置装備車

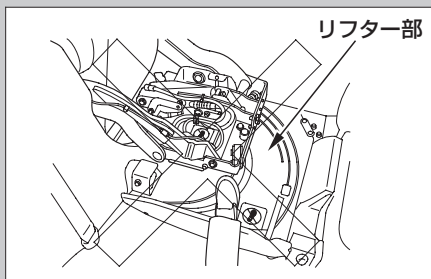
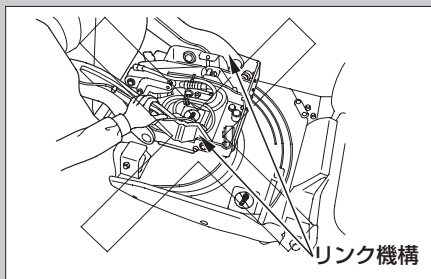
右側シートの背もたれの角度の調節量は、左側より少なくなっています。

回転昇降シート

セレクトレバーが回るとき昇降操作できます。

⚠ 注意

- 回転昇降シートの操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
 - ・ シートの回転、昇降は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
 - ・ パーキングブレーキをかけてセレクトレバーを回に入れ、必ずエンジンを止めてください。
 - ・ シートを操作するときは、グローブボックスが閉じていることと、助手席サンバイザーが格納されていることを確認してください。
 - ・ シートを操作する前に、シート下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。
 - ・ 回転操作や昇降操作は、介護者が行い、手や足などをはさんだりぶついたりしないように十分注意してください。
また、お子さまには操作させないでください。
- ・ リフター部にのらないでください。
後席に人が乗車しているときは、後席の人のつま先や手などをはさまないように十分注意してください。

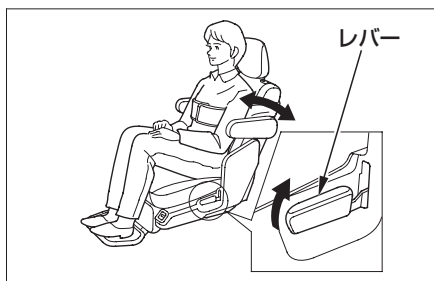


知 識

- この回転昇降シートの最大昇降能力は、100kgです。
これを越えての昇降操作は、故障の原因となります。
- 回転操作や昇降操作をするときは、ドアをいっばいに開けてから行ってください。
- 回転昇降シートが前向きで固定されていないと、セレクトレバーを回りの位置から他の位置へ切り換えられません。シートを左右にゆすって、確実に固定されていることを確認してください。
- 回転昇降シートは、フルフラットシートにすることができません。

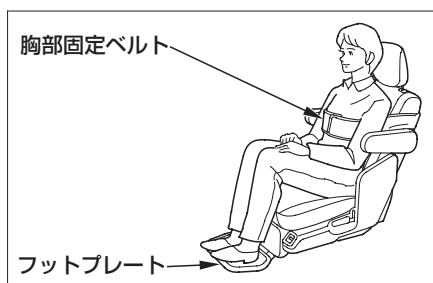
●シートの降ろしかた

- ①シートベルトが外してあることを確認します。
- ②シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれが車体にあたらないようにレバーを引き上げながら背もたれの角度を調節します。
サイドアームを前に倒します。

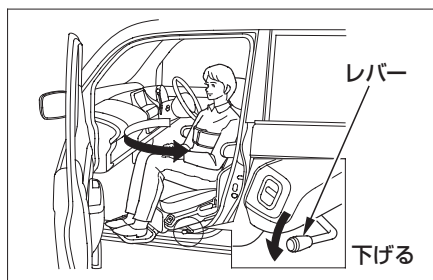


- ③フットプレートを前に倒して足を乗せます。
必要に応じて胸部固定ベルトを装着します。

→13ページ



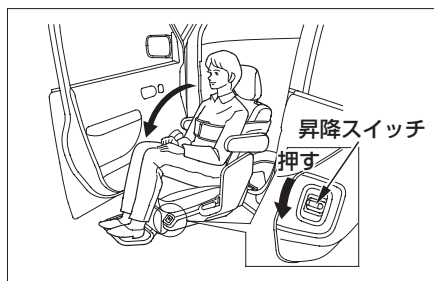
- ④ロック解除レバーを下げてシートを回転させます。
回転を始めたら、レバーから手を離しシートがロックされる位置まで回転させます。



知 識

- シートを回転させた後は、シートを左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

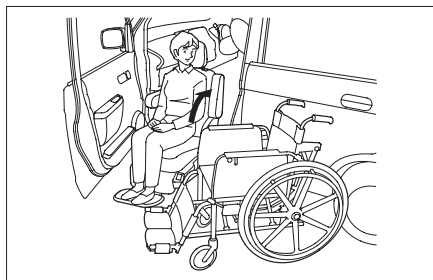
- ⑤昇降スイッチを下に押してシートを降下させます。
スイッチを下に押している間、シートは降下します。
また、途中でスイッチから手を離せば、その場で停止させることができます。



⚠ 注意

- シートを昇降するときは、回転昇降シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。

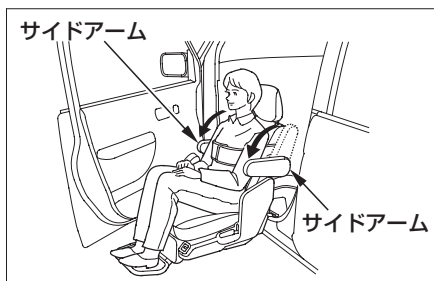
- ⑥サイドアームを上げて、車いすなどに乗り換えます。



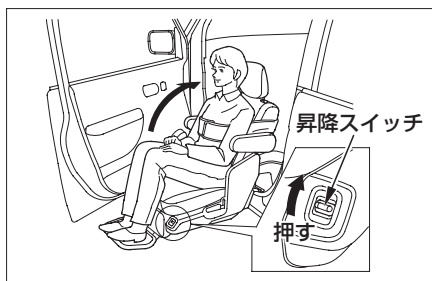
●シートの上げかた

- ①フットプレートを倒し、シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれなどが車体側にあたらないように背もたれの角度を調節します。
車いすなどから乗り換え、サイドアームを倒します。
必要に応じて胸部固定ベルトを装着します。

→ 9、13ページ



- ②昇降スイッチを上を押してシートが完全に停止するまで上昇させます。
スイッチを上を押している間、シートは上昇します。
また、途中でスイッチから手を離せば、その場で停止させることができます。

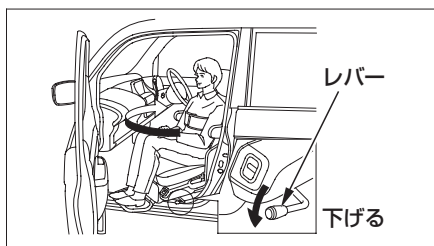


⚠ 注意

- シートを昇降するときは、回転昇降シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。

③ロック解除レバーを下げてシートを回転させます。

回転を始めたなら、レバーから手を離しシートがロックされる位置まで回転させます。



アドバイス

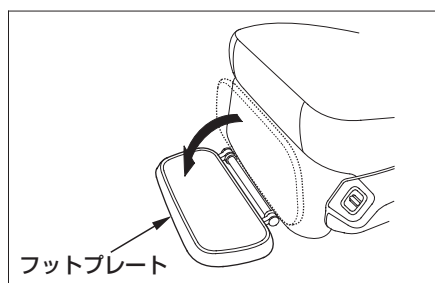
- シートを回転させ横に向いた状態でドアを閉めると、ドアがシートにぶつかり故障や破損の原因になります。
- シートを上昇の途中で回転(収納)させるとシートのガタつきや故障の原因になります。

知 識

- シートを回転させた後は、シートを左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

フットプレート

前に倒して使用します。
回転、昇降操作中は、足を乗せておいてください。



⚠ 注意

- フットプレートの上で立ち上がったりしないください。
フットプレートが破損したりフットプレートから落ちて思わぬけがをするおそれがあります。

胸部固定ベルト

必要に応じて使用します。

⚠ 警告

- 胸部固定ベルトは、シートベルトに代わるものではありません。走行前に必ず、シートベルトを正しく着用してください。

背もたれの後ろに回して固定します。

胸部固定ベルト



車いすの収納のしかた

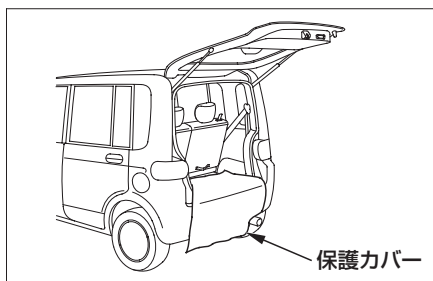
車いす固定ネット装備車

●車いすを収納するとき

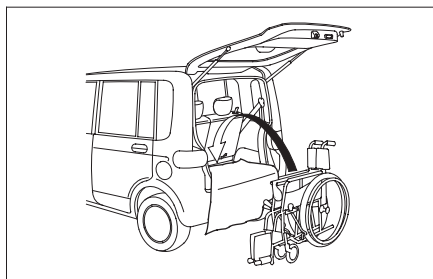
- ①テールゲートを開けます。
- ②リヤシートの背もたれを一番起こした位置に調節します。

リヤシート → That's取扱説明書

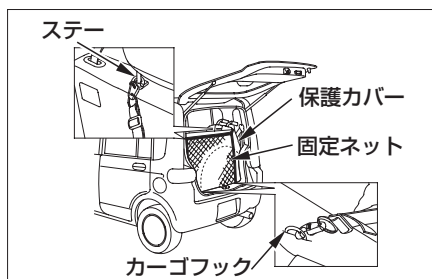
- ③保護カバーを引き出し、バンパーにかぶせます。



- ④車いすを折りたたみ、車いすを横向きにのせます。このとき車いすのブレーキをかけてください。



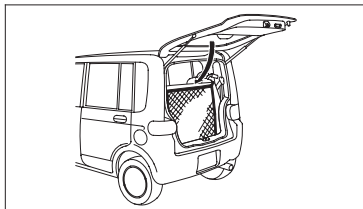
- ⑤保護カバーを車いすにあてながら、固定ネットのフックをカーゴフックとピローのステーにかけて車いすを固定します。



知 識

- 車いすがぐらついたり、固定ネットがきついときは、固定ネットのベルトの長さを調節してください。
- 車いすを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- テールゲートを閉めるとき、車いすにテールゲートが接触しないように注意してください。

車いすがテールゲートと背もたれにはさみ込まれると変形する可能性があります。



●車いすを車から取り出すとき

収納するときとは逆の手順で行います。

車いす収納装置装備車

⚠ 注意

- 車いす収納装置の操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
 - ・ 収納装置の操作は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
 - ・ パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをⒶに入れ、必ずエンジンを止めてください。
 - ・ 収納装置を降ろす前に、接地面周辺に障害物がないことを確認してください。
 - ・ 収納装置の操作は介護者が行い、手や足などをはさんだりしないように十分注意してください。また、お子さまには操作させないでください。
 - ・ 収納装置を上げ降ろしするときは、途中で手を放さないでください。
 - ・ 収納装置を降ろした状態で、車の移動はしないでください。

アドバイス

- 収納装置に車いす以外のものをのせないでください。故障や破損の原因になります。
また、収納可能な車いすかどうか、サイズを確認してください。
→35ページ
- 収納装置は乱暴に操作しないでください。故障や破損の原因になります。
- 収納装置に水をかけないでください。雨天などで水がかかったときは、乾いたやわらかい布で、すぐにふきとってください。

知 識

- この収納装置の最大許容荷重は20 kgです。
- 収納装置を操作するときは、テールゲートをいっばいに開けてから行ってください。

●車いすを収納するとき

①接地面が平坦かどうか確認します。

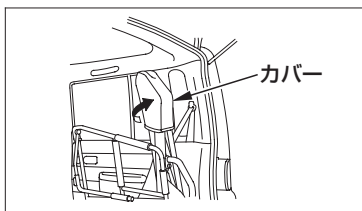
アドバイス

- 収納装置の接地面に傾斜や段差がある場合は収納装置を降ろさないでください。収納装置が損傷するおそれがあります。

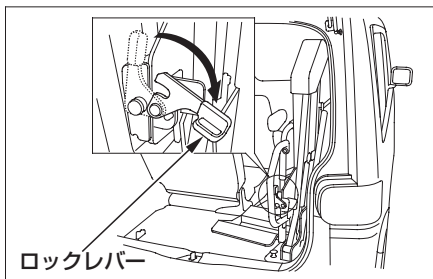
②車いす収納装置よりカバーが取り外されていることを確認してください。

知識

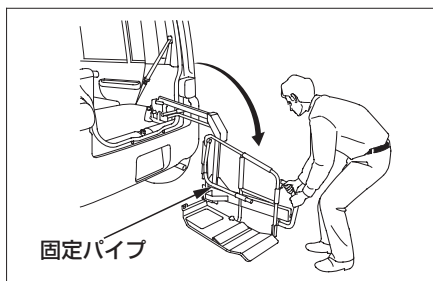
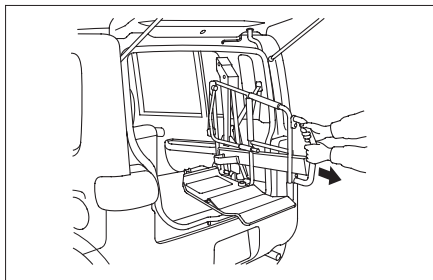
- 収納装置にカバーが取り付けられているときは、取り外します。



③ロックレバーを押し下げロックを解除します。



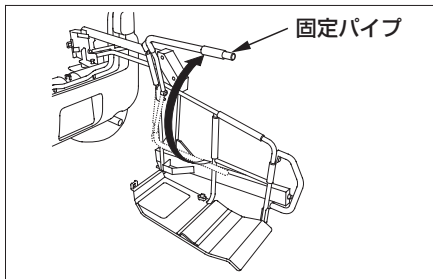
④両手で収納装置を車外に引きだし下に降ろします。



アドバイス

- 収納装置を出し入れするときは、固定パイプを持って操作しないでください。故障や破損の原因になります。

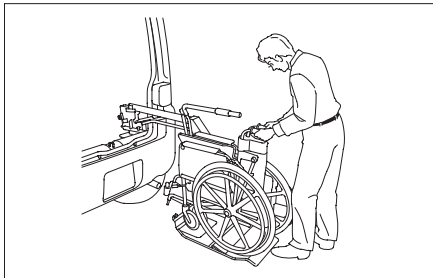
⑤車いす固定パイプをいっぱいの開きます。



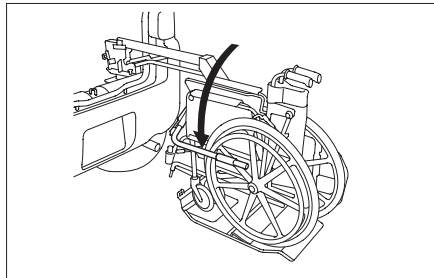
知識

- 固定パイプがいっぱいの開かれていますと、開いた状態が保持されます。周辺に障害物のないところで操作してください。

⑥車いすを折りたたみ、収納装置にのせます。



⑦固定パイプを車いすに密着するまで閉じます。



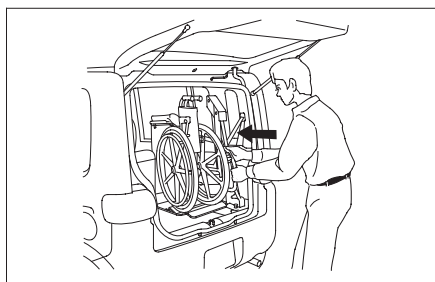
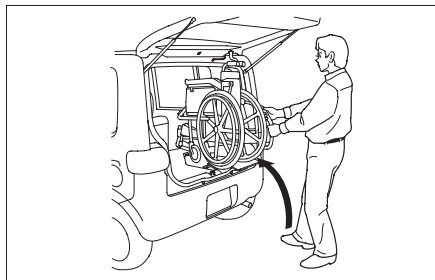
注意

- 車いすを固定パイプで確実に収納装置に固定してください。固定が不完全だと車いすが脱落してけがをするおそれがあります。

知識

- 固定パイプが確実に閉じていると、閉じた状態が保持されます。

- ⑧両手で収納装置を持ち上げ車内へ入れます。

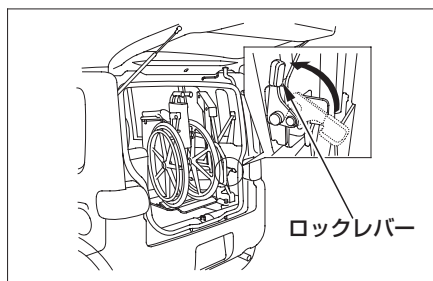


知 識

- 左側リヤシートの背もたれの角度によっては、収納装置と干渉することがあります。干渉する場合は、リヤシートの背もたれの角度を調節してください。

背もたれの調節 → 7 ページ

- ⑨ロックレバーを押し上げロックします。



知 識

- 収納装置を軽くゆすって、確実に固定されていることを確認してください。

●車いすを車から取り出すとき

収納するときと同様の手順で行ってください。

→17ページ

車いす収納装置の たたみかた

車いす収納装置装備車

車いす収納装置を使用しないとき、折りたたんでテールゲート側へ回転させ固定すると、右側のリヤシートに乗車することやカーゴスペースを作ることができます。

⚠ 注意

- 車いす収納装置の回転操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
 - ・ 収納装置の回転操作は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
 - ・ パーキングブレーキをかけてセレクトレバーを回に入れ、必ずエンジンを止めてください。
 - ・ 収納装置の回転操作は介護者が行い、頭をぶつけたり手をはさんだりしないように十分注意してください。また、お子さまには操作させないでください。
 - 車いす収納装置を折りたたんだときは必ずカバーを取り付けてください。
- また、リヤシートに乗車するときは収納装置に頭などをぶつけたりしないように十分注意してください。

アドバイス

- 収納装置を回転するときは乱暴に操作しないでください。故障や破損の原因になります。

●車いす収納装置をたたむとき

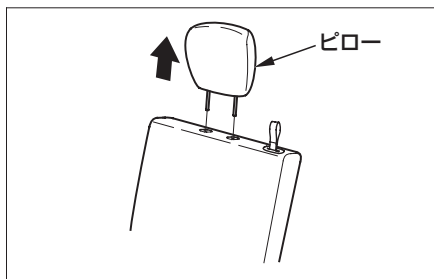
車いす収納装置を折りたたみ回転することにより、乗車定員を4名にすることができます。



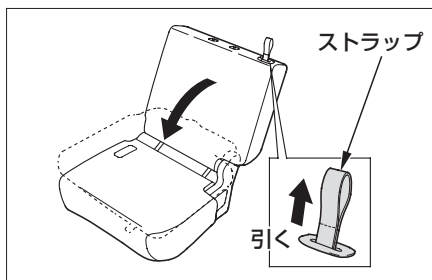
知識

- 収納装置の回転操作は、必ず車いすを降ろしてから行ってください。

- ①リヤシート(左側)のピローを取り外します。

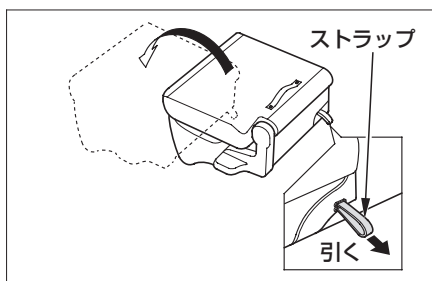


- ②ストラップを引き上げながら、リヤシート(左側)の背もたれを前に倒します。

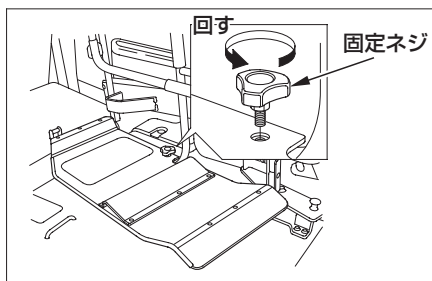


- ③ストラップを引きシートロックを解除します。

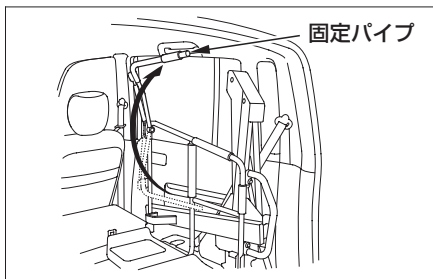
- ④シート(左側)を持ち上げながら前方へ押し出し落とし込みます。



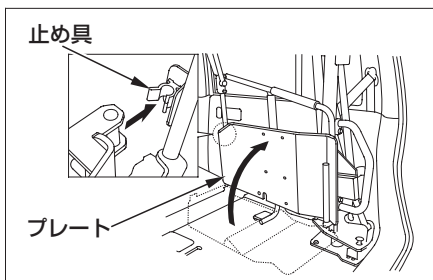
- ⑤プレートの固定ネジを取り外します。



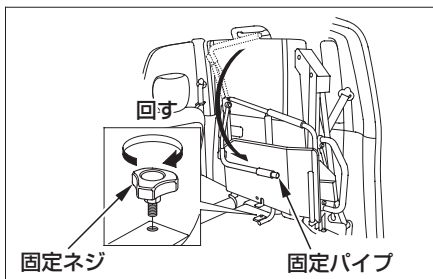
⑥固定パイプをいっぱいに開きます。



⑦プレートを折りたたみ止め具に確実に固定します。

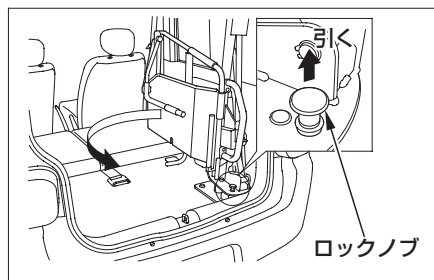


⑧固定パイプを閉じます。

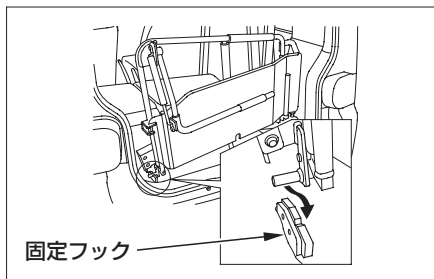


⑨固定ネジを取り付けます。

⑩ロックノブを引いて、収納装置を回転させます。
回転し始めたら、ノブから手を離します。



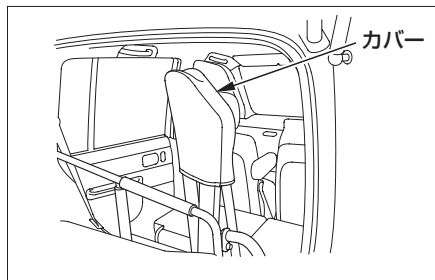
⑪収納装置を持ち上げるようにして、固定フックにさせます。
固定フックに乗せると、ロックノブが元に戻り、固定されます。



知識

- 車いす収納装置を回転させた後は、収納装置を前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

- ⑫車いす収納装置に、カバーを取り付けます。



- ⑬リヤシートを元に戻します。

カーゴスペースの作りかた

→That's取扱説明書

●車いす収納装置を使用するとき

車いす収納装置をたたむときの逆の手順で運転席の後方へ回転させ固定してください。

点検整備について

点検整備方式

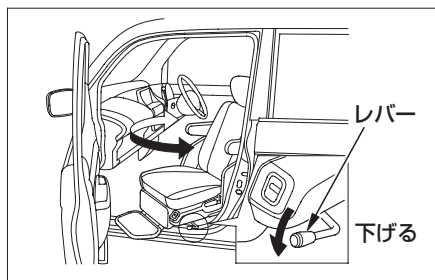
点 検 整 備 項 目		点検時期			交換時期(年)	備 考
		日常点検	12か月ごと	24か月ごと		
回転部	回転部のスムーズさ	○				
	各取付部の緩み、がた、損傷		○	○		
リフト部	昇降スピード、異音	○	○	○		昇降時間 8 - 12秒
	オイルの量、漏れ、汚れ		○	○	2	
	ロック解除レバーのロック状態、変形		○	○		
車いす収納装置	作動のスムーズさ、異音	○	○	○		
	各部の緩み、がた、損傷		○	○		

日常点検

日常の回転昇降シートの使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検です。

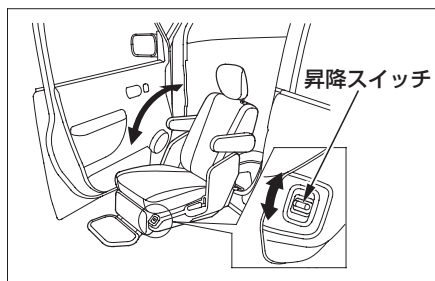
●シート回転部のスムーズさ

ロック解除レバーを矢印の方向に下げてシートを回転させ、スムーズに回転するかを点検します。



●昇降スピード・異音の点検

昇降スイッチを押してシートを昇降させ、スピードが著しく遅くないか、異音がないかを点検します。



車いす収納装置の手入れ

車いす収納装置装備車

塗装面に付着した汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。

汚れがひどいときには、中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし、さらに水にひたした布を固くしぼってから拭き取ります。仕上げに、乾いた布で水分を拭きとってください。

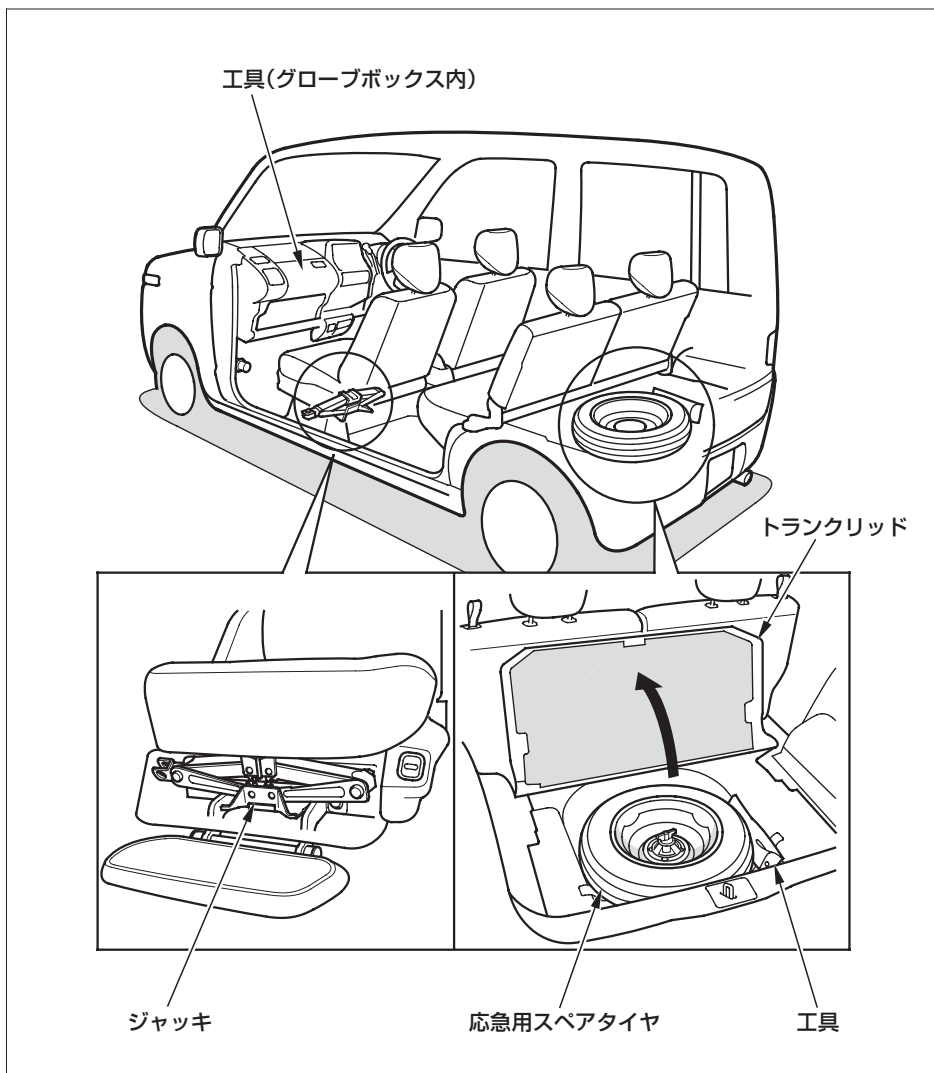
🚗 アドバイス

- 水洗いはしないでください。故障の原因になります。
- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。

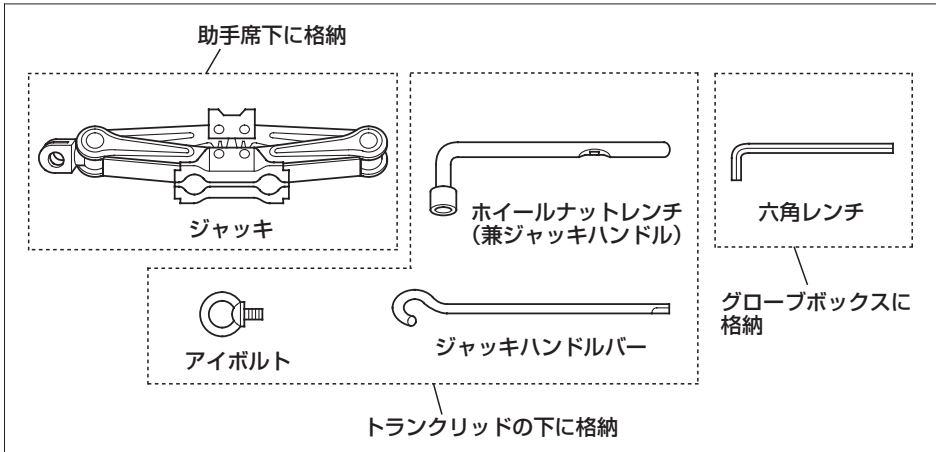
万-のとき

工具

●格納場所



●工具の種類



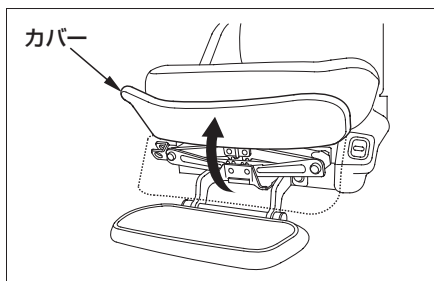
🎓 知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

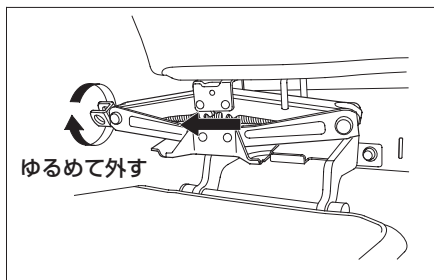
ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出しかた

①助手席前側下のカバーをめくります。



②ジャッキをゆるめて外します。



🎓 知 識

- ジャッキ使用後は、走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- ジャッキを格納するときはドライバーなどで無理に締めないでください。
ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

応急用スペアタイヤ

車いす収納装置装備車

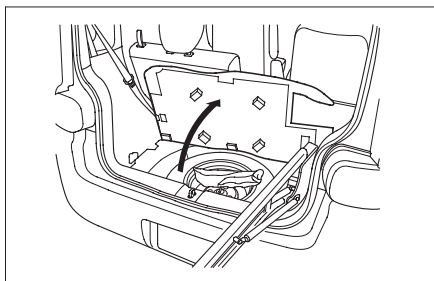
- ①収納装置を引き出して、接地面に降ろします。

→17ページ

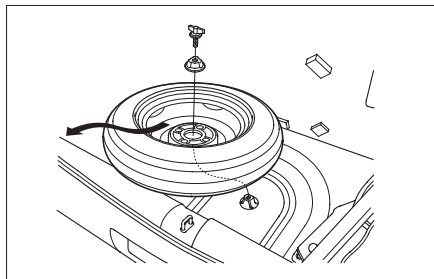
アドバイス

- 収納装置の接地面に傾斜や段差がある場合は収納装置を降ろさないでください。収納装置やバンパーが破損するおそれがあります。

- ②カーゴルームのトランクリッドを開けます。



- ③応急用スペアタイヤと工具を取り出します。



アドバイス

- タイヤを交換するときは、収納装置を車内に戻してから行ってください。ジャッキで車体を上げたときに、収納装置やバンパーが破損するおそれがあります。

シートが昇降できないとき

シートが昇降できないときは、車のバッテリーを点検してください。

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れが考えられます。

- ①バッテリーの⊖端子を外してください。
- ②ヒューズが切れていないかを点検します。
- ③必要に応じて、ヒューズを交換します。

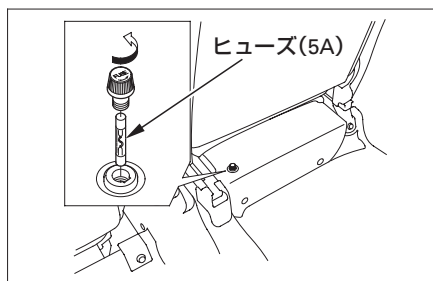
知 識

- 長期間シートを昇降していなかった場合は、昇降スイッチを押してポンプが作動してもシートが下降しないことがあります。
その場合は、昇降スイッチをいったん上(上昇方向)に押してから、下に押してシートが下降すれば、異常ではありません。

●ヒューズの点検、交換

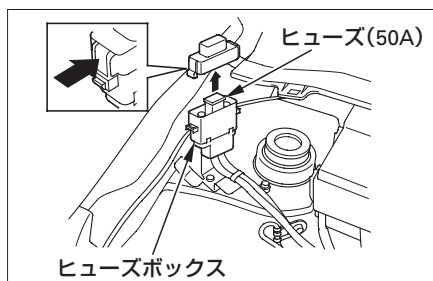
ヒューズの位置

・運転席シート後側



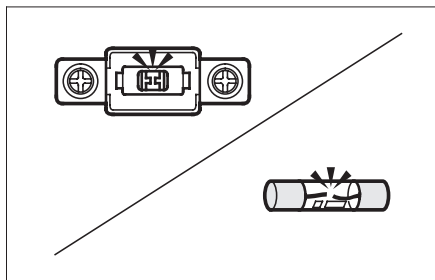
ヒューズ規定容量: 5A

・エンジンルーム内



ヒューズ規定容量: 50A

ヒューズが切れているとき



表示に従い規定容量のヒューズに交換します。



アドバイス

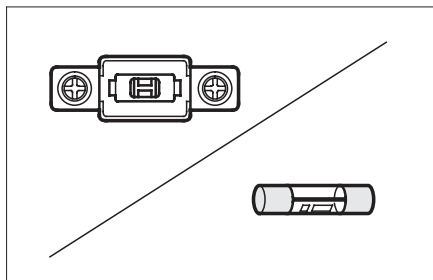
- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。



知識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



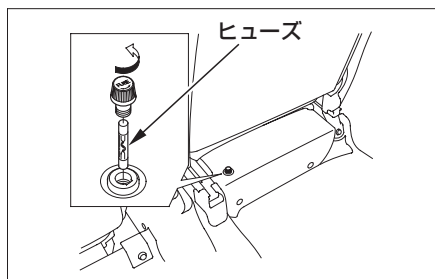
ヒューズが切れていないのに、シートが昇降できないときは、装置の故障が考えられます。Honda販売店へご連絡ください。

→32ページ

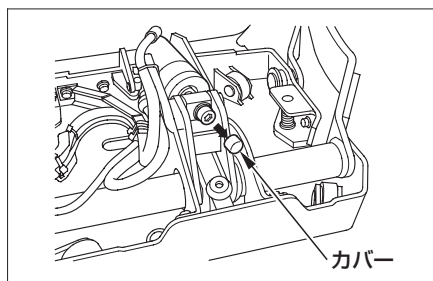
●手動格納のしかた

装置が故障した場合は、Honda販売店へご連絡ください。もし、連絡できない場合は、次の方法で回転昇降シートを手動で格納してください。

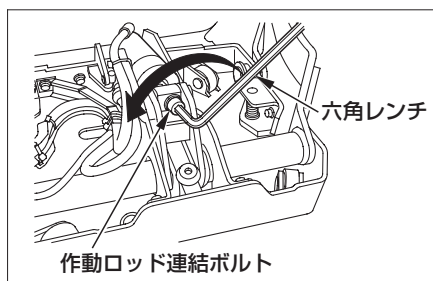
- ①運転席シート後側のヒューズを外します。



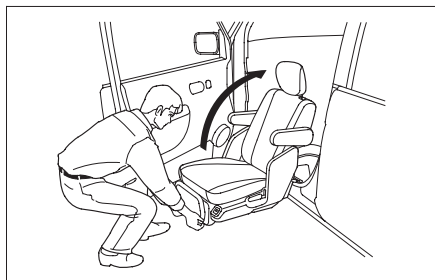
- ②カバーを外します。



- ③六角レンチで作動ロッド連結ボルトを外します。

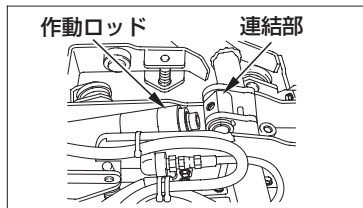


- ④回転昇降シートを静かに一番上(停止する位置)まで持ち上げます。

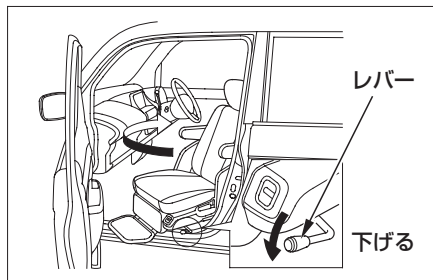


知 識

- シートを少し持ち上げると作動ロッドが倒れます。その状態でシートを降ろさないでください。作動ロッドの上に連結部が乗り上げ、作動ロッドに傷が付くおそれがあります。



- ⑤ロック解除レバーを下げて、シートがロックする位置まで回転させます。



知 識

- 回転昇降シートが前向きで固定されていないと、セレクトレバーを回的位置から他の位置へ切り換えられません。シートを左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

- ⑥なるべく早く Honda 販売店で点検を受けてください。

⚠ 注意

- 回転昇降シートを手動格納したときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

サービスデータ

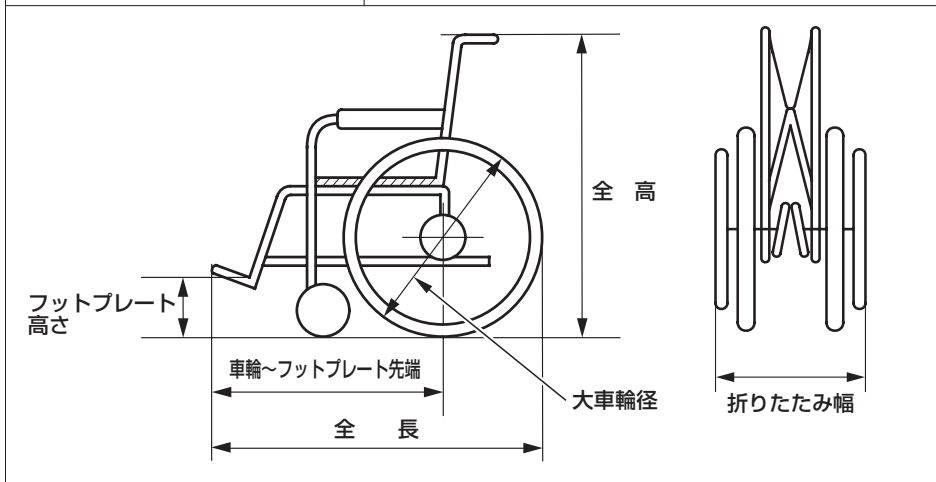
サービスデータ

項 目	サ ー ビ ス デ ー タ	
回転昇降シート最大昇降能力(kg)	100	
パワーユニットオイル	推奨オイル	ISO VG22相当
	交換時期	2 年ごと
	全容量(ℓ)	0.5 (交換時)
車いす収納装置最大許容荷重(kg)	20	
乗車定員(人)	車いす収納装置を使用している状態	3
	車いす収納装置をたたんだ状態	4

収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすのサイズは下表のようになっていますので、車いすを購入されるときに、あらかじめ確認してください。なお、下記条件を満たしている場合でも形状によっては搭載できない車いすがあります。

項目 \ タイプ	自走式、介護式
大 車 輪 径 (インチ)	24以下
全 高 (mm)	790以下
全 長 (mm)	950以下
折りたたみ幅 (mm)	320以下
車輪～フットプレート先端 (mm)	750以下
フットプレート高さ (mm)	100以上
重 量 (kg)	20以下





万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。